

会議名 (審議会等名)		令和元年度 第3回相模原市スポーツ推進審議会				
事務局 (担当課)		教育委員会 教育局 生涯学習部 スポーツ課				
開催日時		令和元年10月3日(木)午後3時00分 ~ 午後4時00分				
開催場所		市役所第2別館5階 教育委員会室				
出席者	委員	11人 (別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	8人 (生涯学習部長、スポーツ課長 他6名)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 あいさつ 2 議 題 (仮)相模原市スポーツ推進計画の策定について(答申) 3 その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり（　は委員の発言、　は事務局の発言）

1 あいさつ

生涯学習部長及び井上会長があいさつを行った。

2 議 題

（仮）相模原市スポーツ推進計画の策定について（答申）

事務局が資料の説明を実施した後、審議を行った。

「施策の方向13 スポーツを通じた豊かな人間性の醸成」の「施策13-2 スポーツを通じた障害者への理解を深める機会の充実」について、私たち障害者団体としては、障害者スポーツの普及に向けて是非取り組んでほしいと思っている。取組が後退しないようお願いしたい。

施策の方向の説明文に記載しているとおりであるが、方向性としては、共生社会の理解促進に向けた取組を進めていくことである。障害者スポーツについては、パラリンピックの種目になっているボッチャなどの競技体験を授業に取り組んでいるので、どんどん工夫していきたい。また、既に取り組んでいるが、連合運動会ではパラリンピアンなどに協力をいただき、デモンストレーションを実施している。さらに、車椅子テニスの代表監督の中澤吉裕監督にも協力してもらいながら、障害のある人もない人も一緒になって楽しめる大会ができないかと議論を始めている。本市にゆかりのある方々の支援もいただきながら取組を進めていきたい。

○ 11月30日（土）にけやき体育館で車椅子テニスの体験会を初めて実施することになった。障害者スポーツの普及に関する取組を学校で実施していくということはよいと思うが、学校以外でも取組が始まろうとしているので、この場を借りて伝えたい。

○ 「施策の方向7 総合型地域スポーツクラブの育成・支援」について、昨日、総合型地域スポーツクラブのメンバーと、地域に根差したスポーツクラブにしようという趣旨で話し合う機会があったが、運営が難しいという意見が出ていた。総合的に地域連携を確立していかなければ総合型地域スポーツクラブの育成は難しい。生涯スポーツの充実において、総合型地域スポーツクラブの重要性は高いと思われる。スポーツにかかわる人材について、我々もニュースポーツや生涯スポーツを体

験できる場づくりに取り組んでいるが、適切な指導を行える指導者が求められるため、スポーツ推進員などとの連携を図っていきたい。

総合型地域スポーツクラブの育成・支援については、施策の方向に位置付けており、今後も活動支援に取り組んでいきたい。先日の懇談会では会場確保の課題について話を聞かせてもらったが、総合型地域スポーツクラブが活動しやすくなるように、公民館や学校など地域に対してクラブのことを周知していきたい。さらに今回の計画では、「施策の方向 1 2 地域のスポーツ団体等と連携した取組の推進」を初めて掲げているので、スポーツ推進委員や総合型スポーツクラブと連携した取組を、子どもたちの活動の場にも広げていくとともに、スポーツ指導者の養成支援についても体育協会等と連携しながら努めたい。

- 5 頁の「(3) かながわパラスポーツ推進宣言の発表」の説明文に「障がいのある人がするスポーツ」という表現があるが、「障害」の表記が「障がい」となっている。本市では「障害」という表記に統一していると思う。

県が使っている言葉を引用しているので、括弧書きでそのまま記載するかたちをとっている。

- 子どもの体力が低下しているとのことだが、この問題については、スポーツ推進審議会だけで検討するものではないように思う。学校教育の中に位置付けて取り組む必要があり、関係する複数の団体が連携していかなければならない。

現在、市の総合計画の改定を進めているが、あわせて、教育振興計画の改定に取り組んでおり、そこで施策に位置付けている。全庁的に取り組んでいきたい。

- 近年、競技スポーツ界では不祥事が続いていて、みるスポーツやささえるスポーツに影響がでることを危惧している。スポーツ指導者の倫理に関することを書き込めないか。

「施策の方向 8 スポーツに関わる人材の発掘と養成」の「施策 8 - 2 スポーツ指導者の養成」の主な事業に指摘された内容を追加したい。現在、体育協会がスポーツ指導者向けに講習を行っているため、そこにコンプライアンスの遵守に関するものを取り組みたいと考えている。

- 「施策の方向17 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたスポーツの推進」にスポーツボランティアの文言を入れられないか。「施策の方向8 スポーツに関わる人材の発掘と養成」に記載があるが、オリンピック開催にあたってはスポーツボランティアの活躍する場がある。

「施策17-1 大会を契機としたスポーツ活動の推進」の主な事業の中に、「施策8-4 スポーツボランティアの確保・育成」の主な事業「スポーツボランティアの受け入れ体制の充実」を再掲として掲載したい。

- 「施策の方向9 スポーツに関する情報提供の充実」の「施策9 スポーツに関する情報提供の充実」のうち、主な事業「SNS等を活用した速報性の高い情報発信の推進」があるが、SNSではどのような情報発信をするのか。

主に本市に関するスポーツイベントの広報を考えている。また、ホームタウンチームの情報発信も検討しているところである。

本日出た意見は、事務局で変更案を検討し、会長が委員を代表して内容の確認をする。事務局より、「パブリックコメント」を12月に実施する旨、3月開催予定の第4回スポーツ審議会では計画書を示す旨の周知をした。

3 その他

事務局から、10月5日(土)開催予定のラグビーワールドカップのパブリックビューイングの案内、及び10月14日(月・祝)開催予定の第14回さがみはらスポーツフェスティバル開催の周知をした。

以上

相模原市スポーツ推進審議会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	井上 直子	学識経験者（青山学院大学教授）	会長	出席
2	阿久根 英昭	学識経験者（桜美林大学教授）		出席
3	井出 樹里	学識経験者（トップアスリート）		欠席
4	志村 信一	公募市民		出席
5	安田 ひろみ	公募市民		出席
6	西岡 直子	（一社）相模原市医師会		欠席
7	三塚 康雄	（公財）相模原市体育協会		欠席
8	上西 雅己	相模原市立中学校長会		出席
9	岡崎 広志	相模原市立小中学校長会		出席
10	八木 英樹	相模原市立小中学校 P T A 連絡協議会		出席
11	大山 孝	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会	副会長	出席
12	大谷 政道	相模原市公民館連絡協議会		欠席
13	小出 庄作	（特非）相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
14	平栗 文夫	総合型地域スポーツクラブ（（特非）城山スポーツ &カルチャークラブめいぶる）		出席
15	山内 渉	ホームタウンチーム（ノジマステラ神奈川相模原）		出席